



Sun Ray™ Connector for Windows OS, Version 2.1 リリースノート

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 820-6503-10
2008 年 10 月、Revision A

このマニュアルについてのコメントを次のアドレスにお送りください。 <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005-2008, Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A.
All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、サン・マイクロシステムズ株式会社の提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク、Sun Ray、Sun Ray Connector for Windows OS、Sun WebServer、Sun Enterprise、Ultra、UltraSPARC、Sun Java Desktop System、SunFastEthernet、Sun Quad FastEthernet、Java、JDK、HotJava、Solaris、および Appliance Link Protocol (ALP) は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Netscape は、米国 Netscape Communications 社の商標もしくは登録商標です。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。Sun Microsystems, Inc. は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK グラフィカルユーザーインターフェースを実装するか、またはその他の方法で米国 Sun Microsystems 社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Federal Acquisitions: Commercial Software-Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

目次

サポートされているプラットフォーム	1
新機能	2
マルチメディア拡張機能	2
変更された機能	2
パッチ要件	3
既知の問題	4
既知のバグ	4
その他の問題	7
Windows ターミナルサーバーのスマートカード認証	7
マルチメディアの問題	7
PCFS フォーマットのメディアアクセス	10
タイムゾーンの問題	10
マニュアル	11

Sun Ray Connector for Windows OS 2.1 リリースノート

Sun Ray™ Connector for Windows Operating Systems は、Sun がサポートする、Microsoft 認定の端末サービスクライアントで、Microsoft Remote Desktop Protocol (RDP) Version 5.2 に基づいています。これについては、Sun Ray Connector for Windows Operating Systems 2.1 インストールおよび管理マニュアルに記載しています。便宜上、Sun Ray Connector for Windows Operating Systems を Sun Ray Windows Connector と呼びます。

サポートされているプラットフォーム

Sun Ray Windows Connector は、次のオペレーティングシステムで実行します。

- SPARC プラットフォームおよび x86 プラットフォーム (Solaris 10 5/08 以上)
- Solaris Trusted Extensions を実装した SPARC プラットフォームおよび x86 プラットフォーム (Solaris 10 5/08 以上)
- SuSE Linux Enterprise Server (SLES) 10 (Service Pack 1 以降)
(32 ビットおよび 64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 1 (32 ビットおよび 64 ビット)

Sun Ray Windows Connector は上記のオペレーティングシステムで実行中に、次に示すバージョンの Microsoft Windows をホストするリモートの Microsoft Windows Terminal Servers (WTS) への接続を提供します。

- Windows 2003 Server (Service Pack 2 Rollup 2) または
- Windows XP Professional (Service Pack 3 (32 ビット)) または
Windows XP Professional (Service Pack 2 (64 ビット))
- Windows Vista

詳細は、『Sun Ray Connector for Windows OS Version 2.1 インストールおよび管理マニュアル』を参照してください。

新機能

マルチメディア拡張機能

このリリースは、拡張されたマルチメディアプレイバック機能を提供します。この機能により、Sun Ray アーキテクチャーが拡張され、H.264 (MPEG-4) および VC-1 (WMV9) ストリームを受け取って、復号化のためにこれらのストリームを直接 Sun Ray 2/2FS/270 DTU に転送できるようになります。したがって、復号化に Sun Ray Server CPU および Windows Server CPU は使用されません。これは、サーバーリソースとネットワーク帯域幅を保持する上で最適な解決方法です。

その他の種類のビデオストリームについては、このリリースでは Sun Ray 1 DTU と Sun Ray 2 DTU で標準 (XVideo) インタフェースの汎用的なプレイヤーの最適化を利用して、YUV ストリームを直接 DTU に送信します。これにより、復号化されたビデオを Sun Ray DTU に配信するために必要な帯域幅が削減され、H.264 および VC-1 以外のビデオフォーマットのプレイバックが向上します。たとえば、RealPlayer では、高速化された YUV パスを利用する XVideo 拡張機能がサポートされています。

この拡張機能は、Windows XP および Windows 2003 プラットフォームで Windows Media Player 10 および 11 を使用しクリップを再生する場合にのみサポートされます。詳細は、『Sun Ray Connector for Windows OS Version 2.1 インストールおよび管理マニュアル』を参照してください。

変更された機能

次のものはサポートされなくなりました。

- Microsoft Windows 2000
- uttsc -D オプション
- PC-SC lite バージョン 1.0

パッチ要件

次のパッチ (まだ推奨パッチクラスタに含まれていない場合もある) が Solaris の実装に必要です。これらがインストールされていることを確認してください。

表 1 Solaris 10 プラットフォームでの Sun Ray Windows Connector 2.1 に必須のパッチ

プラットフォーム	パッチ番号
Solaris SPARC	120094-20 以降
Solaris x86	120095-20 以降

表 2 Solaris Trusted Extensions を使用する Sun Ray Windows Connector 2.1 に必須の追加パッチ

プラットフォーム	パッチ番号
Solaris Trusted Extensions を実装した Solaris SPARC	126363-06 以降
Solaris Trusted Extensions を実装した Solaris x86	126364-06 以降

既知の問題

ここでは、最新の既知のバグとその他の問題を報告します。また、回避方法がある場合は、合わせて提示します。

既知のバグ

バグ ID 6361417

特定のシナリオにおいて、シリアルポートを Windows Terminal Server にリダイレクトすると、Sun Ray サーバーの CPU が最大で 99% 消費される場合があります。

バグ ID 6408886

uttsc または uttscwrap を、日本語ロケールでコマンド行オプションを指定せずに実行した場合、MS-IME が有効になりません。

uttsc または uttscwrap に、オプション -l ja:IME を指定して実行してください。次はその例です。

```
% uttscwrap -l ja:IME
```

バグ ID 6497242

Linux 上の Windows Vista セッションでオーディオファイルが再生される場合、オーディオは明瞭に再生されません。

バグ ID 6569123

Sun Ray から Windows への大量データのカット&ペーストまたはコピー&ペーストが失敗します。

1 回でコピー可能なデータの最大量は 65435 バイトです。これを回避するには、チャンクを小さくしてデータをカット&ペーストまたはコピー&ペーストしてください。

バグ ID 6573456

Trusted Solaris 環境では、グローバルゾーンで実行されているアプリケーションと名前付きゾーンで実行されているアプリケーション間、すなわち、SRWC アプリケーションと gedit などのその他のアプリケーション間でコピーまたはペースト操作を試みると、SRWC アプリケーションが予期せずクラッシュすることがあります。

バグ ID 6576612

xscreensaver を終了すると、SRWC が表示されなくなることがあります。xscreensaver デーモンが Linux デスクトップまたは Solaris の JDS で異常終了している場合、SRWC を起動しても SRWC ウィンドウが表示されないことがあります。

この問題を回避するには、xscreensaver の「設定」ウィンドウから xscreensaver デーモンを再。

1. Solaris の JDS で「起動」->「設定」->「デスクトップの設定」->「表示」->「スクリーンセーバー」と進みます。
2. 画面をロックし、再びロック解除します。
3. SRWC を再起動します。

バグ ID 6579953

Red Hat Linux で、ホットデスクイベント（つまり、スマートカードの取り外しと再挿入）のあと、xscreensaver が起動しないことがあり、マウスがハングアップすることがあります。

SRSS 4.1/SRWC2.1 では、Remote Hotdesk Authentication (RHA) がデフォルトで有効になっているため、この問題は発生しなくなりました。

バグ ID 6610273

RHEL5 ビルドの全画面の Windows セッションで「最小化」ボタンが使用できません。

バグ ID 6633672

RHEL5 から Windows Connector セッションを起動できません。

RPM ファイル compat-libstdc++-33-3.2.3-61.i386.rpm をインストールしたあとで、RHEL5 から uttsc を起動してください。

バグ ID 6634751

RHEL5 のマルチヘッド設定で全画面の SRWC セッション (`uttsc -m`) を起動すると、異なる表示間でカーソルを移動させた後、セッションにアクセスできなくなることがあります。

この問題を回避するには、SRWC にフォーカスを戻すときに `ALT+TAB` を使用してください。

バグ ID 6693925

`uttsc -C` オプションが、8 ビットモードでのみ使用可能です。

バグ ID 6740825

USB デバイスで韓国語のファイル名が 8 文字を超える場合、ファイル名の変更ができません。

バグ ID 6742851

SRWC 2.1 で、`xkb` を使用する日本語キーボードはそのままでは正しく動作しません。

この問題を回避するには、デスクトップの `xkb` を無効 (`utxconfig` を使用) にしたあとで、SRWC を起動してください。こうすると、すべてのキーが予期したとおりに動作します。

バグ ID 6999151

Windows と `gedit` を使用して何度もコピー操作を行うと、Linux プラットフォームで `uttc` がエラーで終了することがあります。

その他の問題

Windows ターミナルサーバーのスマートカード認証

Windows ターミナルサーバーにユーザーを認証するためにスマートカードを使用するには、次の URL にアクセスして Base Smart Card Cryptographic Service Provider パッケージアップデートをインストールしてください。

<http://support.microsoft.com/kb/909520/en-us>

このアップデートによって、Sun Ray 環境の画面ロック解除動作が改善されます。

マルチメディアの問題

マルチメディア拡張機能

マルチメディア拡張機能では、現時点で次の機能がサポートされていません。

- 低帯域幅機能
- Xinerama
- 複数のストリームの同時転送

バグ ID 6637773

Windows Media Player でビデオを再生しているときに、ビデオのレンダリング領域で右クリックが使用できません。

バグ ID 6665881

uttsc は XRandR をサポートしていません。

バグ ID 6692562

「拡張表示の設定」オプションのフレーム制御「次へ」/「前へ」を使用すると、Windows Media Player でオーディオおよびビデオがハングします。

バグ ID 6695339

このリリースでは、Windows Media Player のフレーム単位のビデオプレイバックがサポートされていません。

バグ ID 6699191 および 6751847

Windows Media Player で、「再生リスト」オプションを使用したビデオプレイバックが正しく動作しないことがあります。この機能はサポートされていません。

次の手順に従って Windows Media Player の「連続再生」モードを無効にしてから、メディアクリップを再生してください。

1. Windows Media Player を開きます。
2. 「連続再生」モードを無効にします。
3. Windows Media Player を閉じて再起動します。
4. クリップを再生します。

バグ ID 6699771

Windows Media Player で VC-1 (WMV9) ビデオを初めて再生する場合、再生できないことがあります。この問題はクリップを再起動すると解決します。

バグ ID 6708878

「停止」ボタンを押すと、ビデオプレイヤーでコンテンツの最後のフレームが表示されたままになり、画面が黒く表示されません。

バグ ID 6739180

マルチメディア拡張機能は、Windows Session Directory 環境でサポートされません。この環境にマルチメディアリダイレクション (Multimedia Redirection、MMR) コンポーネントをインストールすることはお勧めできません。

この設定の場合、SRWC を -M off オプションを指定して使用する必要があります。-M off オプションが設定されていると、オーディオおよびビデオのプレイバックは以前のリリースの SRWC と同様に行われます。

バグ ID 6739703

マルチメディア拡張機能を使用している間 (たとえば、サポートされているフォーマットのビデオクリップを再生している間) は、オーディオ割り当て機能が無効になっていても、オーディオは再生されます。

オーディオ割り当て機能を強制的に無効にする必要がある場合は、SRWC を `-M off` オプションを指定して使用します。`-M off` オプションが設定されていると、オーディオおよびビデオのプレイバックは以前のリリースの SRWC と同様に行われます。

バグ ID 6743479

Sun Ray 2 シリーズ DTU で VC-1 (WMV9) ビデオのプレイバックを実行中のユーザーが Sun Ray 1 シリーズ DTU にホットデスクすると、オーディオが停止します。

この問題を回避するには、Windows Media Player を再起動してビデオを再生してください。

バグ ID 6747848

このリリースでは、XVideo を使用するビデオプレイバックで縮小機能がサポートされていません。

バグ ID 6750392

マルチメディア拡張機能を使用しているとき (たとえば、サポートされているフォーマットのビデオクリップを再生しているとき) に、タスクバーのボリュームコントロールが使用できません。

Windows Media Player のボリュームコントロールを使用するか、Sun キーボードのボリュームキーを使用してください。

バグ ID 6750393

VC-1 (WMV9) ビデオクリップの再生中に Sun Ray 2 DTU から Sun Ray 1 DTU に Sun Ray セッションをホットデスク処理すると、オーディオが停止します。

この問題を回避するには、Windows Media Player を再起動してください。

バグ ID 6750394

uttsc またはビデオウィンドウがデスクトップの左端の境界線付近に配置されていない場合で、ビデオが拡大表示されているときに、ユーザーが 2 画面の Sun Ray 2FS から Sun Ray 2 または Sun Ray 270 に Sun Ray セッションをホットデスク処理すると、ビデオイメージに問題が発生することがあります。

この問題を回避するには、次の操作を行ってください。

1. ビデオをデスクトップの左端境界線付近に配置します。
2. アプリケーションメニューまたはコマンドキーを使用してビデオの画像サイズを 100% に設定し、ビデオが拡大表示されないようにしてください。

バグ ID 6754617

高速化された YUV パスを使用してビデオを再生中に、uttsc-bin によって Sun Ray Server CPU の大半が消費される場合があります。プレイバックが終了すると、CPU の消費量は通常に戻ります。

PCFS フォーマットのメディアアクセス

Solaris でのファイルコピー (バグ ID 6546531)

サイズの大きなファイルを Windows から PCFS フォーマットのリムーバブルメディアにコピーする場合、予期していたより長い時間かかることがあり、ハングアップしているように思えることがあります。十分な時間が経過すれば処理は完了します。これは PCFS に関する既知の問題です。

Linux でのファイルコピー

サイズの大きなファイルを Windows から PCFS フォーマットのリムーバブルメディアにコピーすることは、Linux の既知の制限によりできません。この状態を回避するには、UFS、ext3、etc など、PCFS 以外のファイルシステムを使用してください。

タイムゾーンの問題

uttsc のみが /usr/share/lib/zoneinfo/tab/zone_sun.tab (Solaris 用) および /usr/share/zoneinfo/zone.tab (Linux 用) に記述されたタイムゾーンを有効なゾーンと見なし、これらを Windows セッションで等価のタイムゾーンに変換します。上記のファイルに定義されていない値がタイムゾーンに設定されていた場合、Windows セッションのタイムゾーン値は予期できません。

マニュアル

この製品の最新のマニュアルは、docs.sun.com で入手できます。

